



ひがしの子

遠足に行ってきました！

令和6年10月30日
岐阜市立岐阜東幼稚園
園長 広瀬 みゆき

年少児、年中児 達目洞へ！

達目洞では、絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「ヒメコウホネ」の花が見られたようです。(今年度見られるのは最後だったようです。見られてよかったですね。)美しい水の中でしか咲かない花なので、それだけ、自然豊かに守られているということですね。今年度も、岐阜市環境保全課の皆さんや自然を守る会の方たちが、自然を紹介してくださいました。

自分の宝物入れには、虫やドングリをたくさん集めました。集めた宝物を見せ合ったり、どこに虫がいたかを教え合ったりしていました。



カナヘビが大好きな子たちもたくさんいます。でも、カナヘビはなかなか捕まらなかったようです。“なんでもいからたくさんほしい！”とか、“これが好き！”とか、“これが欲しい！”とか、思いはそれぞれです。各々のペース、関わり方で接することができます。



「こんなところに、大きなカマキリ！」いろいろなところに出没する虫たちに、びっくりする年少さんもいたようです。たくさん自然と触れ合うことができた1日になりましたね。

幼稚園の1階の廊下には、今、達目洞の水の生き物たちが水槽で元気に泳いでいます。「ヌマムツ」「カマツカ」「ヌマエビ」が見られます。

大事に飼育していきたいと思っています。

幼稚園にいらしたら、ぜひ、ご覧ください。



年長児 金華山へ！

年長児は金華山登山を行いました。行きは「めい想の小径」で頂上まで2,400mの道のりです。ちょっと険しいところもあり、簡単には登れません。途中で「まだなの？」「遠すぎる・・・。」「抱っこしてほしい・・・。」などとちょっぴり弱音が出ることもありました。中には、「ここからロープウェイに乗りたいなあー。」と言っている子もいました。でも、山火事対策の防火水の数字探しが目標になったり、担任からのみんなであきらめないで登ろうという励ましの言葉からパワーをもらったり、♪できっこないをやらなくちゃ♪を歌ったり、仲間と励まし合ったりしながら、全員、最後まで登ることができました。



頂上では、おいしいお弁当を食べました。お弁当を食べると、再び元気になったたいようさんです。





さらに、金華山の頂上では岐阜城に入りました。お城からの眺めに、「わー、きれい!」「川が見える。」等とその景色に心が動いたようです。自分で頑張って登ったから、より美しく感じたかもしれませんね。

下りは七曲りコースで下りました。帰りは、足取りも軽く、あっという間だったように思います。

山道で出会った人々や、金華山で工事をしていた人たちに、「こんにちは。」「頑張ってください。」等と声をかける姿もみられました。

気持ちよい挨拶ができることに感心しました。

金華山を登った子どもたち。また、成し遂げたことから自信につながっていったのではないかと思います。機会があれば、ぜひ、ご家族で登ってみてください。

一緒に登ってくださった保護者の皆様、お疲れさまでした。ありがとうございました。

令和6年度 全国国公立幼稚園・こども園長会特別事業 東海北陸ブロックキャンペーン研修会 in GIFU が行われました。



以前、皆さんにお知らせしました「全国国公立幼稚園・こども園長会特別事業」が、10月12日(土)に「ながら川ふれあいの森」で行われました。岐阜東幼稚園からは8組の親子が参加してくださり、他には加納幼稚園、本巣市立真桑幼児園の親子、合計30組、100人の方(教員を含む)の参加がありました。「親子で楽しむ昆虫の世界 ~昆虫を通して自然を学ぼう~」というテーマの元、「名和昆虫博物館」の名和 哲夫先生と一緒にフィールドワークを楽しみました。始まりの会では、虫を捕まえるコツや昆虫から子どもが学んでいること等をお話いただきました。

捕った虫については、名和先生から、種類や名称、生態などを分かりやすく教えていただき、子どもたちも、私たち大人も興味が増しました。日頃、園庭では出会えないような虫とも出会えました。私たちは小さいカマキリかな?と思ったら、実は「ヒメカマキリ」という珍しい種類だと知ることもあり、名和先生のご説明に驚いたり、感心したりの連続でした。

参加してくださった保護者の方の声を少しご紹介いたします。

「誰かと共有すること、一緒に心を動かすこと、“好き”のパワーはすごいなと改めて思いました。」
「捕った虫をどうするかは、子どもの気持ちに寄り添うことが必要であることを学びました。」
「親子でとても楽しめました。子どものイキイキとしたよい顔を見られてよかったです。」

参加者みんなが楽しめた、充実した会になりました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。ながら川ふれあいの森、自然に触れ合える素敵な場所です。お時間があれば、ぜひ、足を運んでみてください。

次ページに続きます・・・

最近受けた研修や講演から・・・

先日、全国公立幼稚園 PTA 連絡協議会からご連絡いただき、スマート連絡帳でご案内しました「SNS 時代の真実とウソを見抜く力」を視聴しました。その中で、講師の「国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授の山口 真一先生が、「これからの子どもたちは、自分で考える力を付けていくことが大事」ということを話しておられました。そして、伝え合う力も必要だとも試してみえました。岐阜東幼稚園が保育の中で大事にしていることと同じだと思いました。予測不可能なこれからの時代を生きていく子どもたちだからこそ、自分で考えて行動（考動）する力が必要です。幼児教育の先生ではないかとも、そういう力の必要性を語られたことにとっても共感しましたし、とても大事な力であることを改めて感じました。日々の園生活の中で、子どもたちにそういった力が育まれていくようにしていきたいと思いました。

また、別の日に茂住 菁邨（もずみ せいそん）先生のご講演を伺いました。新年号「令和」の文字をお書きになった方です。その方が、「言葉には言霊が宿る。汚い言葉は控え、いい言葉、優しい言葉を使うことの大事さ」を話されました。悪い言葉はエネルギーが強いそうです。相手に悪いエネルギーが残ってしまうので、できるだけよい言葉を使うとよいとのことでした。幼児は、たくさん真似をしますね。よいことも悪いことも・・・。言葉も「どこでそんな言葉覚えたの？」と思うこともあるかと思います。周りの大人が、日頃から意識して言葉遣いも気を付けていきたいですね。

ごきょうだいやテレビ、YouTubeなどの影響で様々な言葉を覚えることもあります。悪い言葉だと思われるような言葉を使うような時は、相手が言われたらどんな気持ちになるかなど、親御さんも一緒に考えてくださると嬉しいです。



《11月の保育について》

【3歳児】

<ねらい>

○秋の草の実や木の実を集めたり、使ったりして、自然物に興味をもつ。

○好きな遊びの中で、友達と“一緒”を楽しみながら自分の思いを自分なりの言葉で表す。

【4歳児】

<ねらい>

○自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら遊びを楽しむ。

○いろいろな素材や方法を取り入れ、自分なりに工夫して遊ぶ。

【5歳児】

<ねらい>

○自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら遊びを進める。

○友達を誘い合って、遊び方やルールを相談しながらみんなで遊ぶことの楽しさを味わう。

